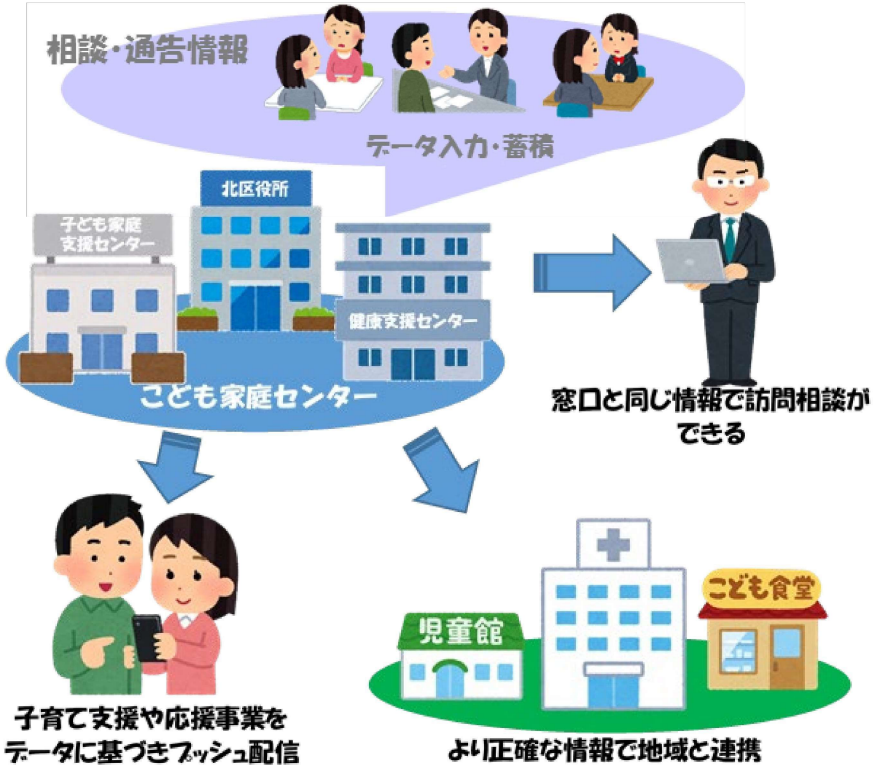
事業概要 【北区児童相談・家庭支援システムの導入事業】

自治体名	東京都北区	人口	362,240人	事業費	53,347千円
事業概要	北区では令和６年４月にこども家庭センターを複数の部署を連携させた機関（５か所の窓口）として設置した。現在、庁内WEB会議等を活用し、定期的な会議で情報共有を行っているが、各所管の情報を即時で確認できないという課題があることから、情報を一元管理し、児童福祉と母子保健の両部門が支援事業やサポートプランについてリアルタイムで共有・確認できるシステムを導入することで、全ての妊産婦、子育て世帯、こどもを対象に地域と一体的な相談支援を実現する。				
具体サービス	【児童相談・家庭支援システムの導入と活用】 • 相談者の負担が少ない相談窓口の実現 相談者がどこに相談しても相談記録等を基にしたニーズに合った相談支援が受けられる。 • プッシュ型サービスの推進 相談記録等のデータを基に、子育てアプリのプッシュ通知で欲しい支援やサービス等の案内が届く。 • 地域資源との連携推進 関係機関はどこに連絡しても最新の情報が得られる。 • 訪問でも窓口と同じ情報で相談ができる。 窓口に「来所できない。」、「電話で相談しにくい。」という相談者に訪問時も窓口と同じ情報で相談ができるようになる。			
主なKPI	【アウトプット指標（活動指標）】 ①子育てアプリによる相談記録をもとにしたプッシュ通知数 ②システムを活用した相談対応件数		【アウトカム指標（成果指標）】 ①子育てアプリ利用世帯の満足度 ②窓口相談者の満足度		